

# タバコの常識を見直そう



ステークハウスブル（静岡市）  
店長 花村 一男

タバコをやめようとして、何回か“断煙”の失敗を繰り返すうちに、タバコへの渴きは、ニコチンのせいだと気付きました。ニコチンのカラクリを知ること、幸運にもタバコを断つことができました。

しかし、旧厚生省の発表によれば、毎年約10万人もの国民が、喫煙によるガン・心臓病・呼吸器疾患などで死亡しており、今後さらに増加傾向にあると警告しています。

喫煙は病気の原因だといいますが、私は、喫煙を繰り返し、習慣を断ち切れないこと自体、すでに病気のだと自覚しています。喫煙者になるということは、ニコチン依存症患者という病人になることにはかなりません。

前途に命の危機をはらむ彼らを“愛煙家”などと持ち上げて呼ぶのは、いかがなものでしょうか。

生涯無煙の人生を獲得するためには、幼いうちからの喫煙予防教育がなにより大切です。

しかし、今日この国では、“タバコ推進”一辺倒の財務省が、予算統制権を盾に、厚労省や文科省の“タバコ抑制策”に目を光らせています。

タバコ事業の民営化も、実態は財務省直轄国営のままです。タバコCMがテレビから消えても、青少年への広告到達量は減るどころか増えています。

タバコ自動販売機は、未成年者喫煙禁止法を尻目に白昼堂々と未成年者を誘い、喫煙死予備軍育成に余念がありません。

輸出タバコと国内向けタバコでは、警告表示の文言が異なり、国民はタバコの危険から目隠しにされています。

こうした一連のタバコ推進策は喫煙開始年齢の低年齢化を加速しており、例えば、これまでは高校からばかりの喫煙予防講座の依頼が、ここ数年、小学校から急増していることからもうなずけます。

かつて、この国の親たちのいつわらざる本音は、戦争に子どもを取られまいということでした。今また、タバコにわが子を奪われまいと心を痛めているとしたら、戦前同様なんと哀しい国情であることか。

子どもを、タバコの脅威から守る本会の活動に祈りを込めたい。

## 御寄付者御芳名

ご協力ありがとうございました

(2002年2月1日～2002年8月15日) (敬称略)


- |          |                       |       |       |       |  |
|----------|-----------------------|-------|-------|-------|--|
| 100,000円 | 粕屋南病院(福岡) 院長 玉井 収     |       |       |       |  |
| 50,000円  | 山本 和子 匿名1件            |       |       |       |  |
| 20,000円  | 国際ソロプチミスト浜松有志一同       |       |       |       |  |
| 10,000円  | 石井 廣重 加藤 高立(千代田 タクシー) | 丹羽 宏  | 沢田 啓  | 白鳥 清人 |  |
|          | 竹内 正幸 横山 博 田中太四雄      | 田中太四雄 | 匿名1件  | 上村 茂  |  |
| 5,000円   | 花村 一男 清川 政一 コスモレイ     | 能登多恵子 | 内山真由美 |       |  |
| 3,000円   | 伊藤 由一 岡本 敏子 森 淑子      | 佐藤 暁美 | 石岡登代子 | 執印 早苗 |  |
| 2,000円   | 吉本 素子 高橋 裕子 油井好美 大森 都 |       |       |       |  |

## 活動状況

3月6日西部健康福祉センターで講演(鈴木秀) 16日タバコから子どもを守る静岡の会 第2回講演会にて講演 30日読売新聞に掲載(加治) 4月8日浜松市助役、保健予防課長と会談(鈴木秀) 14日韓国国営放送TV・KBSニュース9に出演(加治) 19・20日日本小児科学会で発表(加治) 24日浜松市校長会会長と会談(鈴木) 5月12日第10回禁煙アドバイザー育成講習会で講演(加治) 17日国際ソロプチミスト浜松で講演(鈴木秀) 18日 常葉橋高校で喫煙予防講座(花村) 26日雄踏幼稚園父母280名対象に禁煙教育(加藤) 6月4日 美和保育園園児お誕生会にて保育児向け講座(花村) 5日藤枝市立稲葉小学校喫煙予防講座(花村) 6日FMハロー公開放送に出演(加藤、山下) 7日静岡県看護協会研修会で講演(加治) 6月7日大井川町立大井川南小学校喫煙予防講座(花村) 9日第2回子どもをタバコから守る会市民公開フォーラム 19日福田町長と会談(鈴木秀) 20日医療センターネットワークに掲載(加藤) 22日静岡県保健師協会研修会で講演(加治) 29日静岡新聞「この人」に掲載(鈴木秀) 7月4日東京新聞「発言」に掲載、7月4日第一テレビ放映：●まるごとワイド「わが街みどころ再発見」手作り腹話術で禁煙活動をしている男性…その人物像(大井川南小講座風景収録)(花村) 5日浜松市開誠館で中学、高校生約1000名に講演(鈴木秀) 7日中日新聞「おはよう」に掲載(鈴木秀) 8日静岡朝日テレビ「とびっきり静岡」に出演(花村) 10日結核予防会婦人部講演「タバコの怖さに目覚めよう」(花村) 22日藤枝市立中央小学校喫煙予防講座を24日付静岡新聞の社説が当会を紹介。26日清水市養護教員研修会で講演(渋谷) 29日石川県知事・鈴木副知事に子どもをタバコから守る会の活動状況を説明(加藤・鈴木・山下) 30日静岡新聞朝刊「ひろば(論評・発言)」に掲載(花村) 8月14日静岡県健康福祉部長と会談(鈴木秀) 29日県教育長、体育保健課長と会談健康福祉部健康増進課を訪問(加治・山下)

ホームページ <http://kodomo2001.tripod.co.jp/>

医療法人社団 **白梅会** グループ  
 介護老人保険施設 白梅ケアホーム  
 診療所 内田記念医院  
 グループホーム ハーモニー  
 〒431-1112 静岡県浜松市大人見町3011番地の1  
 TEL 053-485-7711 FAX 053-485-7712

貯める楽しみ★定期積金  
 いざという時★メインカード  
 **浜松信用金庫**  
 篠原支店 ☎449-1151

# 子どもをタバコから守る会

# 4



## 巻頭言



奈良女子大学大学院教授  
インターネット禁煙マラソン主宰  
高橋 裕 子

平成6年春、大和高田市立病院で「禁煙外来」の看板を上げたときには、禁煙外来に未成年それも制服を着た少年少女が訪問するようになると思いきやなかったというのが正直な回想です。それから8年いまや毎週のように「未成年禁煙外来」の申し込みがあります。

未成年の喫煙は、成人してからの健康に影響を及ぼすものとして、医師として看過できないものがあります。そしてそれ以上に、タバコをやめられないと悩む子供たちが目の前にいます。

禁煙という面では医療は変わりました。ニコチン代替療法の出現によって、今まで「根性比べ」だった禁煙が、かなりラクに実施できる作業となりました。適切な量を貼りさえすれば数分後には喫煙要求を消してくれるニコチンパッチはとくに有効性が高く、しかも成人だけでなく未成年にも使用できるものです。

しかしながら、一旦喫煙習慣を身に付けた少年少女たちは、ニコチンガム、ニコチンパッチといったタバコをやめやすくする薬が使用できるようなって禁煙のスタートが可能となっても、なおかつ喫煙から禁煙への川を渡るうとせず、あるいはせつかく禁煙してもまた喫煙を再開します。これを少しでも減らそうと、携帯メールでの禁煙支援（禁煙ジュニアマラソン）を子どもたちに無料提供しています。

携帯ジュニアマラソンには、無関心期ともいえる子どもたちや、禁煙している子どもたちも登録しています。たとえば「親が申し込んだから仕方なくメール受けるけどどうして禁煙なんかしなきゃいけないんだ？（茨城県中学1年男子）」といったメールには先輩から「今はそう思うだろうけど禁煙したらきつと気が変わるよ。こちら岸（禁煙）まで、思い切っつけていらっしやい」といったメールが送られます。

それによつて7日後には「禁煙、はじまりました！まだまだ吸いたいけど、ニコチンパッチが必要なほどではありませんせん」といった具合に禁煙をスタートしてゆきます。また「彼に禁煙するように言われたので禁煙をはじめたけど、彼に電話がつかないしメールも帰ってこない。もう禁煙なんてやめようかしら」といったメールには「禁煙を始めたのは彼のためかもしれないけど、禁煙を続けたいらきつと、もっとよいことが起こるよ。禁煙は自分のためだつてことがよくわかるようになる。がんばって！」などのやりとりによつて子どもたちが励まされ、またアドバイスする側の子どもたちもまた励まされる仕組みです。

子どもたちは20歳まで喫煙してはならないという法律が、日本にはありません。（未成年喫煙防止法）100年ほど前に、子ども達にタバコの害毒が及ぶのを防ぐために設けたもので、当時喫煙の害も医学的にわかっていなかった時代に時代を先取りした法律を設置したものだ、今でも先人の知恵には敬服するばかりです。ところがこの法律が文面どおりの運用がなされていないことは衆知のとおりです。タバコ自動販売機さえあれば年齢に関係なくタバコが買える状況になりました。未成年にとつて、タバコを購入しやす状況は揃ってしまったといえましょう。

世界では、子ども達に禁煙防煙の教育を早くから実施している国が多くあります。

道は右側を歩くと体が覚える時期に、タバコの煙は有害だと覚え、友達関係がヘビーでマッドなものになる前に、タバコの断り方を学習することが行われている国と、街角で子供たちが自動販売機でタバコを購入できる国と。

健康日本21でも、2010年には未成年の喫煙はゼロとする目標設定がなされました。未成年の喫煙をゼロにするためには、喫煙をはじめたことを予防するための教育や、喫煙しにくくする環境整備とあいまつて、現在喫煙してしまつた子供たちへの救済（禁煙のサポート）を抜きに話すことはできないと感じています。

未成年の喫煙問題には未成年をとりまくすべての状況が関係しています。学校、家庭、地域、医療、そして子どもたち、そのどれもが努力を重ね、21世紀の子どもたちがタバコを吸うことのない世界をいっしょに作り出しましょう。

禁煙マラソンホームページアドレス  
<http://kinen-marathon.jp/>





三ヶ日町立西小学校 5年2組 安形嘉教

ぼくはタバコをちよつとかつこいと思つていたけどこの薬学講座を通してタバコのコワさがよくわかりました。タバコの害はあまり知らなかったのでガンになったり寿命がちぢんだりすることがわかつてタバコはともおそろしい物だと改めて思いました。タバコのコワさがわかつた今かつこいと思つていたタバコがともかつこいが悪いと思ひました。僕は大人になつてもタバコをすわれないようにしたいです。

三ヶ日町立西小学校 6年3組 藤田あつ子

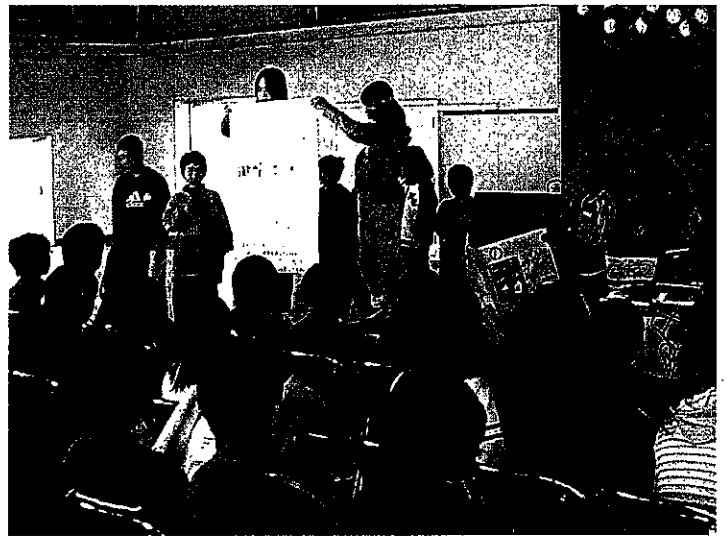
私は今までタバコを吸つてみたい！と思つていました。理由はタバコを吸う人は、カッコ良く見えてしまうからです。でも、今日の薬学講座を聞いて、タバコは肺ガンになつてしまふということなど、まだまだ、たくさん病気になるやうなことが分かりました。わたしが一番こわかつたのは「タバコを吸う」ということはゆつくりした自殺と書いてあつたことです。自分で自分を殺してしまふなんて、とんでもないことだ！というふうに思ひました。

私の近所にもたくさんタバコを吸つている人がいます。一日で最高2箱は吸うそうです。でも今の時代は「ニコチンガム」や「ニコチンパッチ」という便利な薬があることを初めて知りました。なので、これを近所の人に教えてあげようと思ひました。自分の健康は自分の力で守ろう。健康はお金ではかえない！と今日もらつた資料に書いてありました。そのとおりです。長生きするためにタバコはすいたくありません。

浜松市立葵西小学校 5年2組 松原友里絵

私は、タバコはこわいなあと思ひました。前からタバコは体に悪いと知つていたけれど、改めてこわさを知りました。肺がんや手足の切断にまでつながつていると知り、大人になつても絶対にタバコはすわれないようにしようと思ひました。

私の家族はだれもタバコをすつていないので本当によかつたなあと思ひました。お父さんも昔はタバコを吸つていたけれど、私とお兄ちゃんが生まれたのがきつかけでタバコをやめたそうなので、今タバコを吸つてい人も何かのきつかけで禁えんが成功し、たくさんの方がタバコをやめられればいいなあと思ひました。



▲タバコの広告について研究発表をする浜松市立笠井小学校の皆さん



▲第4回こどもをタバコから守る会市民公開フォーラム  
会頭の浜松医科大学名誉教授金子榮藏先生と  
友情出演の浜松工業高校吹奏楽部の皆さん

## タバコは何故やめられないのか？



新居町立新居中学校 2年生

タバコのおいがした。家族でファミリーレストランに入り席に座ると、横の席からタバコのおいがしてきたのだ。ぼくが座つたのは禁煙席だけれど、その横は喫煙席だった。喫煙席でタバコを吸つていたら文句は言えなかつたけれど、ぼくはとも嫌だつた。その人の他にも近くでタバコを吸つている人がいて、嫌な思ひをしている人はぼく以外にもたくさんいるのではないかと思ふ。ぼくはなぜタバコを吸うのか疑問に思つた。タバコを吸うと病気になる確率が高くなるというのを、学校の授業で知つた。それだけではない。タバコを吸つている人よりも、まわりにいる人の方が害になるといふことを知つてびっくりした。タバコを吸う人の中でこのことを知らない人は少ないと思ふ。しかし、タバコはなかなかやめられないものである。聞いた話によると、タバコをやめるには1年間禁煙しないと完全にやめられないそうだ。やめようと思つていてもやめられない人がたくさんいるのだ。

最近、歩きタバコに罰金を科すことや、駅のホームの喫煙コーナーをなくすというのをテレビのニュースで見た。歩きタバコや駅のホームでタバコを吸うということは、他の人への迷惑ということ以上に、危ないことだと思つた。歩きタバコはほかの人にタバコの火が当たつてやけどをさせてしまふ危険性があるし、駅のホームは狭くて混む場所だから、近くの人に火が当たつてしまふかもしれない。だから、歩きタバコに罰金を科すことや駅のホームの喫煙コーナーをなくすということは、不満に思つている人もいるだろうが、安全のことを考えるのであれば仕方がないことだと思ふ。

それでは、タバコの販売をやめればどうだろうか。そうすればタバコの吸いすぎで病気になる人や、吸つている人のまわりにおいて嫌な思ひをする人はいなくなるのではないか。しかし、これは多分できないことだと思ふ。タバコ関連の仕事をしている人が困つてしまふからだ。仕事がなくなると就職困難の昨今多くなつてしまふ。だからタバコの販売はやめることができないのだと思つた。

これも以前テレビでみたどこの国の話だが、その国では、タバコを吸うとどうなるかということもタバコの箱の表面に、すぐに分かるやうにしないといけならしい。こうすることによつて吸う人は、以前より減つているらしい。

日本で販売されているタバコの箱は、その国のタバコの箱と比べるとカッコイイものばかりだ。その国を参考にして日本でも同じやうなことをすれば、喫煙している人もタバコを吸うたがに害について考えさせられるから、禁煙する気になるかもしれない。やっばりタバコを吸うことは良くないし、損をすることだと思つた。

タバコを吸うときには場所を考へて迷惑にならないやう吸つてほしい。タバコをやめろとまで言う権利はない。しかし、人の迷惑になるやうなことだけはやめてほしい。



卒煙外来の御案内

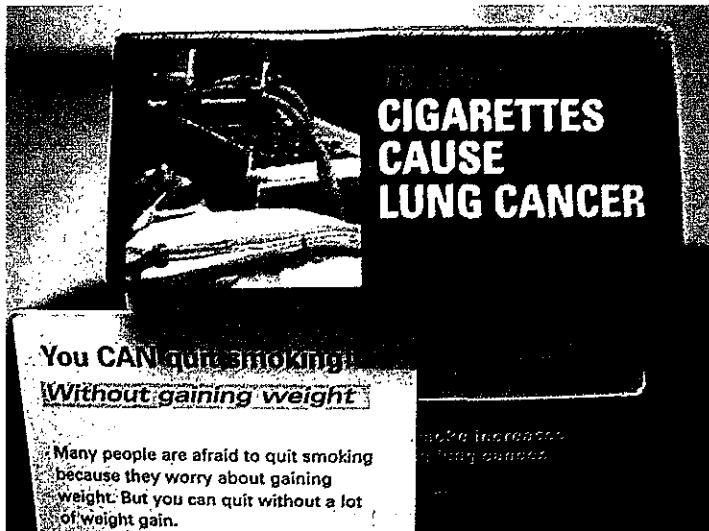
こども病院の卒煙外来は毎週金曜日午後にかけており、初診時には医師の紹介状と予約が必要です。保険がきかないため、全額自己負担で、初診料は6,500円再診料は680円、ニコチンパッチを処方する場合は院外処方箋料690円+薬剤費(1枚約400円)が必要です。ご不明の点は、県立こども病院(電話054-247-6251)卒煙外来担当医(加治正行)まで、ご遠慮なくお問い合わせください。

興味本位から吸い始めたと言うタバコ、私が気がついた時には、中一の息子は、もうやめられなくなっていました。火事だけは起こすなよ、と父親に灰皿を渡されたのですが、ある時、何を思ったのか、たばこをやめたいがやめられないといってきました。市内の大きい病院で聞いてみると、保健センターで喫煙をやめる相談窓口があるということでした。さっそく問い合わせをしたら、年齢を聞かれたので答えたら、子供の講習はやっていないというのです。確かに、不良の象徴のようなことかもしれませんが、こんなにやめたがっているのに、深刻に考えてくれるところがないのかと思うととてもがっかりしました。学校では落ち着きがないし、普段は疲れやすくなっている、おまけに、歯ではなく歯ぐきのぶきみな灰色を知って、担任の先生が、こども病院の禁煙外来を教えてくださいました。すぐ申し込みをして、二人でこども病院へでかけました。

最近の子供の喫煙の現状をきちんと把握していらつしやる先生は、息子の様子も親身になって聞いて下さいました。歯ぐきが灰色になるのも、若いから余計進行が早いからだそうです。そこで、ニコチンパッチというものを初めて見せていただきました。半信半疑だったのですが、息子が素直に使用し、全然吸う気持ちにならない自分におどろいてしまいました。父親にも使わせたいといっていました。私も、友達や親せきから、どこに売っているのか聞かれたりしました。大人でも、たばこをやめたいと思う人はたくさんいるのです。こども病院の先生に、禁煙外来医療機関を教えてください、機会あるごとに、知人に広めている最中です。

息子の喫煙騒動によって、いろいろな人の温かいふれあいを知り、いろいろな方に出会えたりしましたが、今では私の宝物になっています。

子供のたばこのことだからと、隠してあきらめないで相談できる場所を探したりして、おもてに出て行動してよかったですと思っています。



▲人工呼吸器につながれた男性と「タバコは肺がんを引き起こす！」カナダではタバコの箱の半分に写真入りの警告文がついています。箱の中には「あなたは禁煙できる」と禁煙方法の説明書が入っています。



▲浜松商業高校でタバコの害を伝える花村一男さんと池田正子さん

学校を禁煙にしてほしい



私は今、すべての学校の敷地内が禁煙になることを望んでいます。私は今中学校3年生ですが、小学校から中学校にかけて学校ではタバコを吸う先生や父母がいます。タバコの煙はとて臭く、決していい思いをしたことはありません。職員室で先生が吸っているのを見ると、職員室に入るのが嫌になります。また、職員室の外で吸う先生がいますが、その煙は窓から教室に入り、クラスの中ではそれによって勉強に集中できない人もいます。私もそのひとりです。それだけではありません。先生からタバコのことを少し聞きましたが、タバコの煙は発がん性物質や肺の病気のもとになる毒をたくさん持っています。学校は何よりも生徒の健康を第一に考えなければならぬ所であり、勉強に集中できる場所であらうとは思っています。そういう場所でタバコを吸うというのはおかしいと思います。また、未成年の喫煙や飲酒は法律で禁止されています。学校は生徒がいるからこそ学校であるのであり、その未成年の生徒がたくさん集まる学校でタバコを吸うのはおかしいと思います。先生方はタバコは害ばかりで吸わない方がいいと思いますが、その先生方が学校でタバコを吸っていたら、その説明は何の説得力も持ちません。本当に悪いと思っているならば、自分のためだけではなくまわりの人のためにも吸わないことが大切だと思います。

今、静岡県内で学校敷地内を禁煙化する動きが高まってきています。学校内でタバコを吸うことを願っている生徒などいないと思うので、ぜひ静岡市でも学校の敷地内を禁煙にしてほしいと思います。

静岡市立東中学校3年7組 永田規代美・長谷川友美

80000円	肺癌フォーラム静岡
50100円	講演会当日
30000円	加治正行 浜松第二地区民生児童委員 匿名
20000円	横山正一 加治正行 国際ソロブチミスト富士宮
10000円	遠州信用金庫 金森孝三 吉野良寿 原田 久 藤沢医院 伊藤由一
5000円	匿名 菅ヶ谷由美子
3000円	松田正義 小野弘子 村越公子 能登多恵子 木俣美和子 鈴木道子 小畑とよ 執印早苗
2000円	中久木歯科
1000円	深沢恵子



▼ 活動報告

(2002年9月1日～2002年12月末日まで)

- ・9/1第12回日本外来小児科学会 (加治) ・10/6浜名郡雄踏町内商工会議所 (加藤) ・10/11浜松市立丸塚中学校 (沢田)
- ・10/13浜松市立蒲小学校 (鈴木秀) ・10/26焼津市立焼津南小学校 (花村) ・10/29藤枝市立広畑小学校 (花村)
- ・10/30浜北市立倉玉中学校 (石井) ・11/8西遠女子学園 (鈴木和) ・11/11浜北市立浜名中学校 (石井)
- ・11/13藤枝市立葉梨西小学校 (花村) ・11/18浜松市立北小学校 (鈴木秀) ・11/18焼津市立焼津大富中学校 (花村)
- ・11/21浜松市立追分小学校 (鈴木秀) ・11/21第15回栃木県こどもの成長を考えるフォーラム (加治) ・11/22焼津市立港小学校 (花村)
- ・11/23浜北市立浜名中学校 (石井) ・11/28大井川町立大井川中学校 (加治) ・12/2引佐町立南部中学校 (鈴木秀)
- ・12/3静岡ライオンズクラブ講習会 (加治) ・12/4引佐町立南部中学校 (鈴木秀) ・12/5引佐町立南部中学校 (鈴木秀)
- ・12/5清水市学校保健委員会 (加治) ・12/6浜北市立北浜中学校 (石井) ・12/6浜松市立積志中学校 (鈴木秀)
- ・12/6引佐町立南部中学校 (鈴木和) ・12/11福田中立豊浜小学校 (鈴木秀) ・12/15日本小児科学会長崎地方会 (加治)
- ・12/19聖隷三方原病院 (花村) ・12/21第3回「こどもをタバコから守る会」静岡支部市民公開フォーラム

(2003年1月～2003年12月末日まで)

- ・1/25日本小児科医会公開講座 (加治) ・1/28藤枝市立西益津小学校 (花村) ・1/30岡部町立岡部小学校 (加治)
- ・2/4静岡県環境衛生科学研究所 (花村) ・2/4藤枝市立葉梨小学校 (花村) ・2/6神奈川県立こども医療センター公開講座 (加治)
- ・2/6神奈川県立こども医療センター (加治) ・2/19山梨県中巨摩郡若草町 (加治) ・2/25掛川工業高校 (花村)
- ・2/26引佐町立井伊谷小学校 (鈴木秀) ・2/26広島県福山市医師会 (加治) ・3/4清水市保健センター (花村) ・3/5浜松市立豊岡小学校 (鈴木秀)
- ・3/6聖隷三方原病院市民公開講座 (鈴木和) ・3/8肺癌フォーラム静岡 (鈴木和) ・3/20こどもの健康と飲酒、喫煙研究会 (加治)
- ・3/23真富士の里 (花村) ・4/11浜松短期大学 (鈴木秀) ・4/16東北禁煙指導研究会 仙台市 (加治) ・4/16ヤマハ発動機新居工場 (鈴木秀)
- ・4/25聖隷三方原病院市民公開講座 (鈴木和) ・5/14市立橋高校 (花村) ・5/17那覇地区子育て講演会 那覇市 (加治)
- ・5/18第4回「こどもをタバコから守る会」市民公開フォーラム・5/24こども健康桑員地区フォーラム 三重県桑名市 (加治)
- ・5/28聖隷クリストファー看護大学 (鈴木和) ・5/29磐田南高校定時制 (加藤) ・5/29舞坂保健センター (正田)
- ・5/31こどもをタバコから守る会世界禁煙デー企画 静岡 (加治) ・5/31歯科医師会 (白鳥) ・6/5引佐郡学校保健会 (鈴木秀)
- ・6/5富士見市学校保健委員会 (加治) ・6/7第三回北勢地区こども健康フォーラム 鈴鹿市 (加治) ・6/18浜松市立泉小学校 (鈴木秀)
- ・6/19静岡県立浜松工業高校 (加治) ・6/20藤枝市立藤枝小学校 (花村) ・6/12倫理法人会 (正田) ・6/26浜松市立城北小学校 (鈴木秀)
- ・6/26浜松市西法人会青年部 (鈴木秀) ・6/26志太朝比奈第一小学校 (花村) ・7/2浜松市立曳馬中学校 (鈴木秀)
- ・7/3三菱ウエルファーマ (加藤) ・7/3聖隷クリストファー高校 (鈴木和) ・7/5西園女子学園高校 (鈴木和) ・7/8藤枝市立青島小学校 (花村)
- ・7/10大泉村泉中学校思春期教室 (加治) ・7/11藤枝市立青島北小学校 (花村) ・7/14浜松市立三方原中学校 (石田)
- ・7/24浜松市立湖東中学校 (鈴木和、八田) ・7/25学校における喫煙問題検討委員会 (加治) ・7/26第20回全国禁煙教育研修会 (加治)
- ・7/28袋井市民病院 (鈴木和) ・7/30春野町健康増進センター (鈴木秀) ・8/9鳥取市「鳥取禁煙問題研修会」 (加治)
- ・8/20三島市民の日講演会 (加治) ・8/23名古屋市第5回小児健康フォーラム (加治) ・9/17ヤマハ発動機豊岡工場 (鈴木秀)
- ・9/20大阪小児呼吸器懇話会 (加治) ・9/25引佐町立奥山小学校 (花村) ・9/26浜松市立萩丘小学校 (鈴木秀)
- ・10/1第30回愛知県西尾地区学校保健委員会 津島市 (加治) ・10/6浜松市立初生小学校 (鈴木秀) ・10/9浜松市豊西小学校 (加藤)
- ・10/9静岡県庁卒煙教室 (加治) ・10/9浜松市立蒲小学校 (花村) ・10/15御殿場健康福祉センター(加治) ・10/15静岡県浜松総合庁舎 (鈴木秀)
- ・10/16中北薬品 (加藤) ・10/16焼津市立東益津中学校 (花村) ・10/18南アルプス市健康まつり講演会 (加治)
- ・10/22引佐郡三ヶ日町立西小学校 (鈴木秀) ・10/24焼津市立大富小学校 (花村) ・10/25第14回兵庫県こども健康週間講演会 豊岡市 (加治)
- ・10/30富士宮市立富士宮第四中学校保健委員会 (加治) ・11/10浜松市立笠井中学校保健委員会 (加治) ・11/12浜松市立五島小 (鈴木秀)
- ・11/14藤枝市立青島北小学校 (花村) ・11/20浜松市立葉梨西小学校 (鈴木秀) ・11/25しずおかいきいき健康フォーラム21 (花村)
- ・11/26浜松ハーモニーロータリークラブ (鈴木秀) ・11/27国立東静岡病院院内講演会 (加治) ・11/27島田市立大津小学校 (花村)
- ・11/29静岡県医師会母子保健講習会 (加治) ・12/2藤枝市立青島東小学校 (花村) ・12/3浜松市立開成中学校 (鈴木秀)
- ・12/4浜松市立笠井小学校 (鈴木秀) ・12/4清水市学校保健委員会 (静岡) (加治) ・12/5藤枝市立高洲小学校 (花村)
- ・12/8浜松市立江西中学校 (鈴木秀) ・12/10浜松市立笠井小学校 (鈴木秀) ・12/15引佐町立井伊谷小学校 (花村)
- ・12/18南アルプス市母子保健推進会議 こどもの喫煙予防研修会 (加治) ・12/18引佐郡細江町立中川小学校 (花村)

▼ 第六回こどもをタバコから守る会市民公開フォーラムのご案内

会場 浜松アクトシティ研修交流センター 62 研修交流室  
日時 平成16年5月30日(日) 14:00～16:00

▼ 編集後記

昨年は健康増進法がスタートし、学校の敷地内禁煙も続々と決定され大きな前進がありました。こどもをタバコから守る会の会員は昨年も精力的に講演活動を続け、お話を聞いていただいた方も、昨年一年間で約2万人に達し煙害に対する知識も随分広まった事と思います。会誌も今までと趣を変えての発行となりました。ご協力をくださいました高橋裕子先生をはじめ、作文や感想文を寄せてくださった生徒の皆さんに誌上をおかりして心より御礼申し上げます。有難うございました。私達はこれからも皆さまの御支援を受けてこどもたちをタバコの害から守るために活動を続けてまいります。

